

# 明日への扉

アスヘノトビラ

弥生3月は「別れ」と「出会い」の季節です。小学校から入学してきた3年生は、この3年間で、実にたくましく成長しました。授業や生徒会活動、学校行事や部活動などで共に笑い、涙したことも…。いま、そうした皆さんが卒業していくのは嬉しい反面、寂しさも隠せません。卒業生を送り出すと在校生はそれぞれ進級して、桜の開花とともに希望を胸にした新入生を迎えます。先輩になる上級生は“春日丘魂”を発揮して春日丘を引っ張って行ってください。教職員もみなさんの成長に負けないように、学び続け、みなさんを応援していきます。

今年は、5月になると今の平成から、新しい元号になる歴史的な年になります。そして、来年は東京五輪の開催です。日本は今や、国際社会の中で確固たる立場にあります。3年生の皆さん！「Boys, be ambitious！」（少年よ、大志を抱け）！



\*-\*-\*-\*-\***授業の様子を紹介します**\*-\*-\*-\*-\*

## “折れない心”

春日丘中の学校教育目標『自立・貢献』と、身につけたい5つの力～礼儀・あいさつ・判断力・コミュニケーション力・折れない心～この中のうち、「折れない心」について、ラグビーというスポーツを通して考えました。

中学生のときに、自分よりもセンスのある日永田泰佑（ひえいだ たいすけ）選手と出会った2015W杯日本代表 五郎丸歩（ごろうまるあゆむ）選手。中高時代は全く歯が立ちませんでした。大学時代には、日永田選手を止めることができました。そのとき、日永田選手は五郎丸選手との努力の差を感じました。その差が積み重なって大きな力の差になったのだと思いました。また、今度は日永田選手が、五郎丸選手に追いつきたいと思い、頑張ろうとした矢先、左膝前十字靭帯断裂という大きなけがを！日永田選手は、ラグビー界から静かに去ったのです。大きな挫折でした…。しかし、五郎丸選手のW杯南アフリカ戦での必死の自信にあられるプレーは日永田選手に勇気を与えます。そして、日永田さんは、独学で料理を学び、鮪を扱った料理店の店長さんとして、今輝いています。お互いを目標としあい、『折れない心』を磨きあった二人について、みなさんは何を感じ取りましたか。



《ワークシートより（授業の感想）》

- ・私はラグビーをしている。負けてばかり。勝てたのは指で数えられるほど。でもあきらめずにがんばって努力して、いつか勝てるように、成長できるようになりたい。
- ・誰かがきっかけで、自分の気持ちが動くことがとても素晴らしいと思った。人生の中で、苦しみからはい上がるのは、自分が動かなければ変わらない。『今を変えなければ、未来も変わらない。』五郎丸さんの言っていた言葉は、本当なんだなと思った。
- ・大きな失敗や人生のどん底を味わってもあきらめずに生きること、自分の人生を輝かせることができると思う。辛いとき、悲しいときがあっても、前に進み続けることが大切だと思う。



## 2年生

### “身近な国際貢献とは？”

引き続き、担任・副担任の先生による“ローテーション道徳”を行っています。先日の中町先生の授業のテーマは『国際貢献・国際理解』。「国際貢献は、国や政府が行うもので、自分にできることは少ない」と思っていませんか。しかし、青年海外協力隊として働いておられる友達を中町先生が訪ねたエピソードや、バスケットボールを教えるために遠くエチオピアでがんばっておられる加納先生(!)のビデオレターなど、“生の声”を聴くことで、みなさんの中にある固定概念をうちやぶれたのではないのでしょうか。この授業を通して、自分ができる国際貢献・国際理解について考え、行動できるようになってくれたら嬉しいです。

#### 《ワークシートより（授業の感想）》

- ・国際貢献や国際理解というのは、国や政府レベルじゃないと何も進まないと思っていたけれど、青年海外協力隊など、自分たちでもできる国際貢献があると知った。そのような考えをもつ人が増えれば、世界規模での国際理解をしようとする意識を高められると思う。
- ・個人で行動を起こしたり、ボランティアとして技術支援をしたりすることができると知った。外国だから言語や生活のちがいはあるけれど、それでも良さを引き出したり貢献したりすることはすごいと思った。
- ・初めて見る人に対して「どんな人だろう」など警戒するのではなく、聴いて、見て、考えて、つなげる。そんな思いや気持ちが大切なんだなぁと知った。



## 3年生

### “にいちゃんのランドセル”

12月から行ってきたローテーション道徳もいよいよ終盤を迎え、各先生による授業が一通り終わりました。今回は、常深先生の授業を紹介します。

1月17日と聞いて、みなさんは何を思い浮かべますか。みなさんが生まれる前の話ですが、その日は“阪神淡路大震災”が起こった日です。地震によって多くの被害が出て、多くの人の命が奪われました。その状況の中、奇跡的に残ったランドセル…。地震から数年後に生まれた弟の凜くんが小学校入学前に、父親からこんなことを聞かれました。「凜、このお兄ちゃんのランドセルを使うか、それとも新しいのを買う？」。もし、あなたが凜くんだったら、このお兄ちゃんのランドセルを使いますか。



#### 《ワークシートより（授業の感想）》

- ・兄から弟にランドセルが引き継がれているのを知って、弟が兄の分まで精一杯生きようとしているのが伝わってきた。命がある限り最後まで一生懸命に生きることを大切にしたい。
- ・ランドセルというものを通して、兄から弟へ命が受け継がれたことを知り、私も心温まった。小学校に入る前の弟が兄のランドセルを使うと言ったのは、きっと両親の兄への強い想いが伝わってきたからだと思った。
- ・この話を聞いて私は悲しい話だと思っていたけど、凜くんの言葉を聞いてとても心が温かくなった。何事も前向きに考えることはとても大事だと思った。
- ・阪神淡路大震災で多くの命が失われてしまったけど、その命への想いは今でも残っていると思うので、それをこの先の世代にずっと伝えていくことが僕たちがすべきことだと感じた。

**[尊い( )の( )に触れて] ～( )にはどんな言葉を入れますか？～**

- ・尊い( 命 )の( 大切さ )に触れて
- ・尊い( 兄 )の( 形見 )に触れて
- ・尊い( 家族 )の( 優しさ )に触れて
- ・尊い( 命 )の( つながり )に触れて
- ・尊い( 兄弟 )の( 絆 )に触れて
- ・尊い( 兄 )の( ランドセル )に触れて